

※黎明(れいめい)：明け方、夜明けの意

特集

地域とつながる、病院をひらく
荘内病院まつり初開催

まごころを込めた取り組み 約1800名来場の大盛況



(写真：1階中央ホールのステージ発表にて「Shooting☆Stars(シューティング・スターズ)」の皆さま)

地域に開かれた病院を目指して

当院では10月26日、地域の皆さまとの交流を深め、健康づくりへの関心を高めていただくことを目的に「第1回荘内病院まつりまごころフェス」を開催しました。

ステージ発表では Shooting☆Stars によるチアダンスや、鶴岡東高等学校吹奏楽部による演奏で会場は大変盛り上がりしました。リハビリスタッフによる体力測定コーナー、健康チェックブースの血圧・血管年齢測定に認知症チェックなど、日頃の健康づくりに役立つ体験ブースを多数ご用意し、1800名と非常に多くの方にご参加いただきました。

また、医師・看護師のお仕事体験や内視鏡カメラ体験、手術センターの見学など、病院をより身近に感じていただける内容も盛り込み、会場は、終日笑顔と活気にあふれ、地域の皆さまの温かさを改めて感じる1日となりました。

本イベントは多くの地域団体・企業の皆さまにもご協力をいただきました。また、まつりを通じて、地域の皆さまが気軽に健康について学び、当院とのつながりをより身近に感じていただける機会になったと思います。今後も、地域の皆さまに信頼される病院を目指して、職員一同努めてまいります。ご来場いただいた皆さま、ご協力いただきました関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

第1回荘内病院まつり ～まごころフェス～

地域とつながる テーマは「感動体験」

ステージ企画では、多数の大会受賞歴を持つ鶴岡東高等学校吹奏楽部による迫力ある演奏や、当院職員ユニットの演奏、花笠踊りを披露。最後には鶴岡市を拠点に活動する TiareAnapa (ティアレアナパ) の皆様とフラダンスを披露し、会場は終日笑顔と拍手に包まれました。



未来の医療を担う世代へ

医師・看護師体験コーナーでは、内視鏡カメラの操作体験や手術室を見学し実際に使用している器具にも触れてみました。

当日は多くの子供たちも参加し、医療の仕事に興味を持つきっかけになった様子でした。



「腸内細菌」講演会と椅子ヨガで健康づくり

午前は株式会社メタジェンの代表取締役社長 CEO 福田真嗣さんより腸内細菌と健康について講演いただきました。当院では、昨年4月に腸内細菌ドナー外来を開設しておりその取り組みについても紹介しました。

腸内細菌ドナーの詳細についてはドナー支援ウェブサービス「ちょうむすび」をご覧ください。

午後からは、講師の佐藤美由紀さん指導のもと椅子ヨガを行い、音楽に合わせて体を動かし参加者の皆さんは心も体もリフレッシュした様子でした。





荘内病院まつりを
盛り上げてくださった皆様
本当にありがとうございました！



第1回荘内病院まつり
実行委員長
鈴木 聡 院長



New Project

モンテディオ山形パブリックビューイング in荘内病院～県内医療機関で初開催～

11月23日、明治安田J2リーグ第37節「モンテディオ山形」の試合を院内でパブリックビューイングとして上映しました。この企画は、県内の医療機関として初めての取り組みで、患者さんやご家族、職員へ、スポーツ観戦を通じて笑顔と活気を届けられるようにと、モンテディオ山形スタッフの皆さまと病院有志職員と地域サポーターが協力して開催されました。

当日は1階中央ホールに大型スクリーンを設置し、チームカラーの応援グッズを手に約110名の方が試合を観戦。対戦相手のジュビロ磐田から、前半9分に土居聖真選手が先制ゴールを決めた瞬間には大きな拍手が起こるなど、会場は一体感に包まれました。

モンテディオ山形の全選手
サイン入りユニフォームを
頂きました！選手の皆様
ありがとうございます！



2023年シーズンに現役引退。
引退後は山形の食べ物のおいしさに
感動し米農家(つや姫栽培)に
就農。山形の食の魅力を岡崎さん
のYouTubeでも発信中！



ポーズをとる(左) 岡崎クラブ
コミュニケーターと(右) ディーオ

また、会場には元選手で現在はモンテディオ山形のクラブコミュニケーターを務める岡崎建哉氏とマスコットキャラクターのディーオも登場し、ハーフタイムには選手の豪華景品が当たる抽選会も行われました。

■ 入院中の患者さんからは「今年は治療でスタジアムに一度も行けなかった。病院で雰囲気を感じて元気が出た」「家族と一緒に応援できて嬉しい」「また開催してほしい」といった声が寄せられました。本イベントの企画を中心となって担当した当院の災害看護専門看護師の木村看護師は「病院での身体的な治療だけでなく心を含めて看護ケアなど提供できればということで患者さんたちも笑顔で楽しんでくれてよかった」と話してくれました。

Topic01

最新診療情報を報告 地域連携を深める合同懇談会

12月2日、東京第一ホテル鶴岡にて、医師会をはじめ登録医、歯科医師会、薬剤師会より90名が参加し、合同懇談会を開催しました。

第一部では当院の最新の診療情報を報告。第二部では福原晶子医師会長や清野肇歯科医師会長を交え、日頃の連携について活発な意見交換を行いました。終盤には、若手研修医の紹介も行われ、地域の医療機関が手を取り合い一丸となって地域の皆様の健康を支える決意を新たにしました。



庄内で唯一最新の脳動脈瘤治療が可能になりました

当院では、体への負担が少ない最新の血管内治療に力を入れています。従来よりも短時間で治療を終えられ、再発も抑える画期的な治療法です。さらに最新の撮影装置により、放射線量を低減しつつ鮮明な画像での治療が可能となりました。より安全な治療法を、地域の皆様へお届けします。



脳神経外科 主任医長
山木 哲

角膜の再生医療で広がる新しい治療の選択肢

病気や怪我で失明の恐れがある角膜の病気に対し、自分の「口の中の粘膜」を培養して目に移植する新しい治療が注目されています。自分の組織を使うため拒絶反応の心配がなく、従来のドナー不足も解消できます。令和3年から保険適用となり、安全で再発しにくい画期的な選択肢として、視力回復への大きな希望となっています。



柿栖先生は今年2月に庄内で初めての羊膜移植手術を当院で実施しました。



眼科 医長 柿栖 康二

当院は「専門医によるがん相談」が受けられます

当院は国立がん研究センター東病院と連携し、地方でも最新のがん治療を受けられる体制を整えています。令和7年6月からは「おんらいんがん相談」を開始しました。遠方の東病院の専門医によるがん相談を、当院の看護師が同席してサポートします。移動の負担なく、患者さんとご家族が安心して治療選択できるよう支援します。



緩和ケア認定看護師
上林 沙希子

Topic02

麻倉未稀さんとがんと緩和ケアを学ぶ “庄内プロジェクト”主催

11月15日、三川町なの花ホールにて「第18回緩和ケア市民公開講座」を開催し、約140名の方が地域で支える緩和ケアの概要やがんについて学びました。

はじめに、当院の鈴木聡院長が「庄内プロジェクト」について講演し地域の患者さんを支える緩和ケアの概要やその取り組みを紹介しました。続く特別講演では、歌手の麻倉未稀さんが登壇し、自身の乳がんの経験から、患者さんや家族の心のケアの大切さを話していただきました。「がんと共に、楽しく生きる」をテーマに地元神奈川県藤沢市での居場所づくりの活動等を紹介され、最後には名曲『HERO』をアカペラで披露しその力強い歌声に会場は大きな拍手に包まれました。

参加者からは「貴重な話だった」「地域に貢献する姿勢に感銘を受けた」との声が寄せられ、地域で支え合う緩和ケアについて理解を深める貴重な機会となりました。



麻倉未稀さんのプロフィール

1981年デビュー。TVドラマ主題歌『HERO』等のヒットで知られる。2017年の乳がん手術から3週間で復帰し、現在はNPO法人「あいおぶらす」等で検診啓発や患者の心のケア活動に尽力。歌手・サバイバーとして精力的に活動中。

Topic03

音楽でやすらぎを届ける院内コンサート



10月17日、第14回「緩和ケアコンサート」を開催しました。ミュージックボランティア「ひまわりの会」の皆様をはじめ、当院の医師、看護師のユニット「Glasses(グラッシーズ)」や、庄内看護専門学校の学生も出演しました。クラシックから馴染みのある名曲まで心を込めた音色が会場を包み込み、患者さんやご家族、スタッフの心に笑顔と癒やしを届ける素敵な時間となりました。

これからも、心豊かな時間をお届けできるようなイベントを考えてまいります。



お気軽にご相談ください

専門外来 開設

「無症候性心不全外来」を開設

無症候性心不全外来では、**症状が現れる前の段階で**心不全のリスクを把握し、早期から適切な管理・予防を行うことを目的としています。

当外来は、当院の人間ドックやかかりつけ医からの紹介制となる完全予約制で毎週木曜日午前に診察を行っています。



check! 「BNP(脳性ナトリウム利尿ペプチド)」を知っていますか？

心不全は心臓に負担がかかっている状態であり、負担がかかっていると「BNP」という数値が上昇します。健康診断や人間ドックの結果にある「BNP」の数値を確認してみましょう。

当外来の対象には含まれませんが、**BNP35-100pg/mL**または**NT-proBNP125-300pg/mL**の方は精密検査の対象となります。かかりつけ医へご相談ください。



check! 当外来の対象となる方

BNP>100pg/mLもしくは**NT-proBNP>300pg/mL**の方

数値は高いけど、“自覚症状はない”という方、精密検査を受けてみませんか？

外来受診までの流れ

1

健康診断・ドック受診
(または、かかりつけ医に相談)

2

「BNP値」が高いと判明

3

紹介状の発行
(かかりつけ医から当院へ)

4

当院を予約・受診(完全予約制でスムーズに受診いただけます)

5

心臓リハビリプログラム(希望があれば生活・運動習慣を含めて考えます)

※必要に応じて循環器科外来でフォローします

料金について

検査項目	検査項目	料金※
基本セット	レントゲン、血液検査(特殊採血を含む)、心エコー、心電図、冠動脈CT、心肺運動負荷試験、血管脈波検査	33,000円
	ホルター心電図	6,000円
必要に応じて	頸動脈エコー	3,000円
	心臓MRI	8,500円
	心臓リハビリ	3,000円/回
	睡眠時無呼吸検査	3,000円
	心筋シンチ	25,000円

※3割負担の場合の料金例です。上記の他に診察代等が加わります。



Pickup!

多職種で支える「心不全チーム」の紹介 ～再発を防ぎ、安心の生活を～



心不全は高齢者に多く、また当院での心不全患者の入院数は、県内の急性期病院の中でも多い状況です。当院では令和7年2月から多職種による「心不全チーム」を結成し毎週心不全カンファレンスを行っています。チームが介入する心不全の患者さんには、ベットサイド訪問を行い、多岐にわたる問題やニーズを医師や看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、社会福祉士が協力し、薬や食事、運動、退院後の生活まで支えます。令和7年度には、院内で**6名が心不全療養指導士**の資格を取得し、患者さん一人ひとりの「自分らしい暮らし」と、病気の再発予防に全力で取り組んでいます。

検診「精密検査」の通知、そのままにしていませんか？

「精密検査」の通知、引き出しに眠っていませんか？
専門医に相談するチャンスです。



1 なぜ「放置」が危険なの？

検診の目的は、病気の「芽」を早期に見つけることです。

精密検査の通知は決して「すでに病気である」という宣告ではありません。「まだ症状がないから」「忙しいから」と放置してしまうと、気づかないうちに病状が進行し、数年後に大きな手術や長期の入院が必要になるリスクを高めてしまいます。



2 精密検査は「はっきりさせる」ためのもの

検診はあくまで「スクリーニング(ふるい分け)」です。

精密検査をすることで、「治療が必要な状態なのか」あるいは「生活習慣の工夫で様子を見られる状態なのか」をはっきりさせることができます。「何ともなかった」という確認ができれば、それが一番の安心に繋がります。

精密検査の検診はがきを
紹介状としてご利用
いただけます！



3 荘内病院の受診について

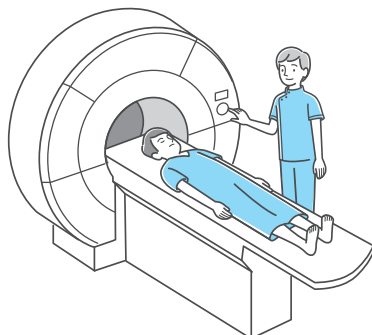
当院では、健康診断やがん検診の結果、精密検査が必要とされた方を受け付けています。

通常、当院の受診には紹介状が必要ですが、**精密検査の検診はがきを受診時にお持ちいただければ、紹介状の持参は不要です。**

受診前に当院「1 番窓口(総合受付)」にお電話いただき初回診察の予約をしてください。

体の負担に配慮した精密検査を行っています！

当院では、大腸内視鏡検査はもちろんのこと、CT撮影による大腸の検査も可能です。
また、今後は最新の経鼻スコープも導入予定です。検査について、詳しくは医師へお聞きください。



大腸CT検査

CT撮影によって大腸のがんやポリープなどを調べます。大腸カメラは抵抗があって…という方にもおすすめです。

※大腸CT検査で異常が見つかった場合は大腸内視鏡検査を行うか、医師とご相談ください。



経鼻スコープ

※4月に導入予定
鼻から直径5.4—5.8mmの内視鏡(カメラ)を挿入し食道、胃、十二指腸を調べます。経口内視鏡検査に比べ嘔吐反射などの苦痛を軽減します。

医師を目指す学生の
皆様ぜひご活用ください！

お知らせ information

「医師修学資金貸与者」を募集します

当院で、将来医師として勤務いただける医学生を対象に修学資金を貸与します。

大学卒業後、一定期間を当院で勤務すれば貸与資金の返還が**“全額免除”**されます。

貸与条件や応募方法などの詳細は、お気軽にお問い合わせください。

年額200万円 × 最長6年！

医師免許取得後8年以内に
勤務を開始すればいいから
自由度が高いね！



山形県の医師修学資金など
他の修学資金との併用 OK！



募集期間

令和8年4月1日(水)～5月31日(日)

貸与期間の1.2倍の勤務が必要

詳細はこちらから▶▶



お問合せ 総務課経営企画係(内線 6327)

移動販売を院内で開催しました！

11月に、外来の待ち時間を少しでも快適に過ごしていただけるよう、移動販売を院内に招き、販売を行いました。販売には「とくし丸」「焼き芋専門店そらいも」「わんぱくたまご KOKO189」の皆様よりご協力いただきました。

「とくし丸」の美味しいお弁当やお惣菜、果物など、「そらいも」の焼き芋やブリュレ、パフェ、「わんぱくたまご」のたまごやプリン、フィナンシェなど豪華ラインナップにたくさんの利用者が集いました。利用いただいた方

からは「受診のついでに立ち寄れて便利」「気分転換になる」といった声をいただきました。



(1階中央ホールでの院内販売の様子)

お問合せ 総務課・接遇委員会



「ヒポクラテスの木」といわれるプラタナスの葉がシンボルマークとして使われています。

鶴岡市立荘内病院
Tsuruoka Municipal Shonai Hospital

〒997-8515 山形県鶴岡市泉町4-20

TEL : 0235-26-5111(代表)

FAX : 0235-26-5110

HP <https://www.shonai-hos.jp/>

ホームページは
こちらから



SNS一覧は
こちらから

